国内初セーフコミュニティ国際認証都市

セーフコミュニティ かめおか

けがや事故を予防しよう

Vol.26 平成 29 年 8 月号

セーフコミュニティとは

セーフコミュニティ(SC)とは、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、体系だった方法によって、地域社会全体が協働で安全安心に取り組んでいるコミュニティのことで、亀岡市は国内で初めてSCに認証されています。

亀岡市では、市内で発生しているけがや事故の現状及び課題などから、自殺対策、高齢者の安全、交通安全、防犯対策、スポーツの安全、乳幼児の安全の6つの対策委員会を設置し、市民の皆さんとともに安全･安心なまちづくりを進めています。

ボランティアの募集が始まりました！！

登録はスマホで簡単に出来ます

セーフティドライブ プロジェクト

法定速度や交通ルールを守って安全運転をする方がマグネットステッカーを車に貼って走行することで、交通安全の緩やかなネットワークを広げる取組です。

まち・レコ プロジェクト

ドライブレコーダーを車に設置している方がマグネットステッカーを貼って走行することで、まちの見守りをみんなでしようという取組です。事件などがあったときには警察署への映像提供をお願いすることがあります。

登録資格

運転免許証を所持している方で、亀岡市内に在住又は通勤・通学等で亀岡市を利用する方

※まちレコはドライブレコーダーを車に設置している方のみ

登録方法

次のいずれかの方法で申し込みをしてください。後日マグネットステッカーを郵送します。

① 同封の申請書に記入の上、持参又は郵送で市役所６階自治防災課に提出（郵送先は裏面）

② ホームページから申し込み（市のトップページ又は QR コードから申し込み）

乳幼児の事故・けが予防に関する啓発活動

子どもが安心してすくすく大きくなるために

７月１１日、千代川町自治会館で開催された子育てサロン「ちびっこひろば」において、乳幼児の事故・けが予防に関する啓発活動を行いました。

亀岡市では、乳幼児(0~4 歳)が救急搬送される原因は転倒、転落、誤飲の順に多くなっています。転落では、０歳児をソファに置いて少し目を離したときに落下する事故などが起きています。

子どもの口に入る大きさの物は手の届くところに置かない、危険が予測される箇所は予め転落対策をするなどの予防によって防げる事例もありますので、今後も様々な場面で啓発活動を行っていきます。

スポーツに関するけが対応の調査を実施

スポーツを楽しむために大切なけが予防

６月中旬から７月にかけて、市内のスポーツ少年団の方々にご協力いただき、スポーツ活動中のけが予防やけがが起きた時の対応について調査しました。

けが予防の対策では、ウォーミングアップの徹底、器具・用具の点検、活動場所の環境整備などをしっかり行われており、子どもたちが大きなけがなくスポーツを楽しめるよう様々な対策をされていました。

今回の調査結果は、今後のスポーツにおけるけが予防の対策に活用していきます。

夏の交通事故防止府民運動スタート

セーフコミュニティ応援隊の皆さんにもご協力いただきました

７月２１日から夏の交通事故防止府民運動が始まり、市内各所で街頭啓発活動が行われました。

今年のスローガンは「ひまわりに　無事故を願う　京の夏」です。

啓発活動には、各関係機関をはじめ、セーフコミュニティ応援隊の方々にも参加いただき、ドライバーに対して交通ルールの順守と安全運転を心がけるよう注意喚起を行いました。

問　亀岡市総務部自治防災課　電話 0771-25-5097　FAX 0771-24-5501　　E-mail　1sc2008@city.kameoka.lg.jp
〒621-8501　亀岡市安町野々神８番地

インターナショナル セーフスクール

安全で安心な学校・保育所・保育園づくり

セーフスクールとは

体と心のけがやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全･安心な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル･セーフスクール(ISS)です。

亀岡市立曽我部小学校、社会福祉法人倣襄会(ほうじょうかい)亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所8カ所(本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津)がISS認証を取得し、現在も取り組みを進めています。

ＩＳＳの取組を小・中学校で共有します

教育研究所でのＩＳＳ研修会

６月３０日、教育研究所でＩＳＳ研修が開催されました。

ＩＳＳの取り組みは、曽我部小学校が亀岡市内の小中学校を代表して実施しています。ＩＳＳ研修では、その取組を広げることを目的として開催されました。

今回はＩＳＳの基本的な考え方を改めて学ぼうと、日本セーフミュニティ推進機構の白石代表を講師として招かれました。

「心と体の安全な学校づくり」というテーマで、ＩＳＳの理念を生かした取組や、取組を通した学校や子どもの変化などについて講演されました。

安全な自転車運転を身に付けよう！

曽我部小学校の自転車運転免許の取組

曽我部小学校では、ＩＳＳ取組開始時から４年生時に自転車運転免許証取得を目指す活動を行っています。

今年も７月１３日に、練習を重ねてきた４年生が亀岡警察署や地域交通安全活動推進委員の指導のもと、自転車運転免許取得のための試験を受けました。

また５・６年生は、免許取得後も安全に自転車に乗れているかを確認するため、改めて試験を受け直しました。

小学校６年間を通して、しっかりと安全な自転車運転を学んでいます。

万が一にみんなで備える！

別院保育所の土砂災害合同避難訓練

別院保育所では、避難訓練をより実効性のあるものにするために、昨年度から自治会と合同で避難訓練を実施しています。

６月８日に行った訓練では、土砂災害が起きたことを想定し、実際に避難に必要な荷物を持ち出し、保育所からバスに乗って、東別院町公民館へ避難する行程を確認しました。

昨年度は土砂災害マニュアルも見直す中で、職員の意識も共有し、より具体的な避難訓練につなげています。

子どもたちの活躍が広がっています

本梅保育所のあいさつ運動

本梅保育所では、子どもたちがＩＳＳキャラクターである「こっころちゃん」になって、毎日の登園者数や保育所内で気を付けなければならないことを当番制で伝えています。

また年長児はこっころ当番に加え、登所時にあいさつ運動を行ったり、「かばんを自分で持ちましょう」運動の啓発も行うなど、園児が主体となってＩＳＳ活動に取り組んでいます。

保護者や他の園児からも元気に挨拶が返ってきています。

交通安全運動を盛り上げます！

東本梅保育所が夏の交通事故防止府民運動スタート式で太鼓演奏を披露

７月２１日、平成２９年度夏の交通事故防止府民運動のスタート式が亀岡消防署で開催され、東本梅保育所の年長児が参加しました。

交通ルールを改めて確認する機会となり、交通安全意識の向上につながりました。

最後には園児たちが太鼓演奏を披露し、交通事故防止運動開始に花を添えました。